

# 東つよしの 奔西走



地下の岩盤の形によって災害冊子が配られ、詳しい説明がされました。

## 市長に予算要求で懇談 命・くらしを守る市政へ

日本共産党岡山市議団は11月1日、大森市長に来年度の予算要求書を手渡し、重要政策について懇談しました。(写真)



国民健康保険料の引き下げの要求について市長は「額が大きい。医療を受けている人が払うのが原則」と、値上げの可能性があると語りました。

子どもの医療費の無料化について、「選挙中にメディアからも遅れていると言われた。今、担当と話をしている」と、制度拡大の検討中だと話しました。

## 防災計画の市民説明会 始まる

防災計画の見直しをうけて市は学区ごとの市民説明会を始めました。一番目は曾根小学校で、東市議も話を聞きました。(写真)



揺れの激しい地域が出る「焦点化現象」について、東市議は議会では被害予測に盛り込むことを求めています。

この日党市議団は教育長とも懇談し、正規教員を増やすことなどを求めました。

保育行政について市長は「保留見解消は必要」という考えを示しました。懇談で党市議団が認可保育園を今増やせば国の有利な財源を使えることを指摘すると「研究する」と答えました。

## つよし

10月に昨年度決算について審議する決算特別委員会がありました。私のいた特別会計の委員会では、東区選出の委員長が、当局に請求して出させた資料の説明をさせないということがおこりました。税金や保険料がきちんと使われているかチェックする議会の仕事を放棄するもので問題ではないでしょうか。(東つよし)

した。説明会では地図を示して注意がよびかけられ、東市議の隣に座っていた女性はうなづきながら「鳥取県西部地震では私の倉庫が壊れた」と話していました。

津波からの避難は浸水予測の外に逃げるのが原則です。しかし「どんな災害でも避難は小学校」という受け止めの発言が多く、市は説明に苦勞していました。

防災計画の市民説明会にみなさんご参加ください。